

いのちを守る森の防潮堤づくり

苗木を届けました!

4月15日、東京地本「いのちを守る森の防潮堤づくり」は、3674本の苗木を南相馬市に移送しました。どんぐりを拾うことから始めて、慶作舎で心を込めて3年間育てられた苗木は、大きいものでは80cmほどの大きさがありました。今後は、南相馬市に贈呈され、「いのちを守る森の防潮堤」として市民の手で植樹されます。100万本の苗木の贈呈を目指す取り組みは、大きな一歩を歩み始めました。



苗木を南相馬市内の畑に積み下ろしました
やがて苗木は、いのちを守る大木となります



苗木は常磐線沿線で育苗されています

南相馬市に届けた苗木

コナラ	659本
アカガシ	798本
タブノキ	1068本
ヤブツバキ	269本
シャリンバイ	255本
トベラ	25本
スタジイ	600本
合計	3674本